

NEW ASUMA

Vol.5

通刊 20号



ASUMAは
日本の農業を応援するため、
食や営農の「いま」をお届けしています。

冬の間、雪の下でじっくり熟成させる越冬にんじん。寒さに耐えるため、甘みやうま味を感じるアミノ酸の含有量が増えて、甘くおいしくなるといわれています。越冬野菜は、雪の多い地域で広く作られる名産品。にんじんだけでなく、大根やキャベツ、ネギなどさまざまな種類があります。先人の知恵が生んだ、季節と土地の恵みですね。

雪の恵み、越冬にんじん



広がる施設園芸の可能性

施設園芸は日本の農業を活性化するキーワードのひとつとして注目を集めています。いま国が力を入れている次世代型の施設園芸拠点の整備などを追い風に、従来からあるガラス室やビニールハウスの施設園芸も進化が進んでいます。今後の施設園芸はどのような進化を辿るのか、その方向性を整理するとともに、施設園芸を支える「育苗」のいまに迫ります。



増加する園芸作物 国内農業産出額の約4割へ

「季節・天候に左右されない農業」は、近代から現代の農業が求めてきた、一つの大きなテーマです。野菜・果樹・花きなどの園芸作物は長期保存ができないため、年間を通じて安定的な生産をするためには、施設園芸が不可欠。ガラス室やビニールハウスなど、いわゆる「雨よけ施設」といわれるものから、高度な制御装置を備えた複合型施設まで、その形はさまざまあります。

農業総産出額を見ても、近年、野菜の占める割合は高くなっています。畜産に続いて第2位の野菜に、果実、花きも含めた園芸作物は、国内農業産出額の約4割を占めるまでに。その重要性は増えています。

そんな園芸作物の半数以上は、施設で生産されています。中でも、イチゴやトマトは約8割が施設園芸によって生み出されているほど。今後の日本の農業経営において、施設園芸は必要不可欠な存在といえます。

新規就農者と相性が高い 園芸作物

施設園芸は高度な技術を導入できるため、安定して生産性を高められ、付加価値の高い農産物の生産も可能といわれています。

農業人口の減少から、施設園芸は面積自体は減少していますが、生産量自体はほぼ横ばい。より効率化が進んでいる状況といえます。また、収益性の高さにも注目が集まっており、施設野菜の10aあたり所得は、露地野菜の約3倍。労働生産性が高く、小さい面積で収益を上げることが可能となっています。

こうした側面から、新規就農者からも人気が高い成長分野となっています。野菜・果樹・花きは、新規就農者の8割以上が中心作物として選択。野菜の栽培においては、施設園芸で新規就農をする割合が3割近くとなっています。自分なりの工夫ができ、高付加価値化ができる施設園芸。「利益を生むビジネス」として、高度な環境制御装置を備えた施設園芸に他業種から参入する流れもできています。

施設園芸の課題は 生産性と環境制御

高い収益性で注目される施設園芸ですが、課題もあります。

まず一つ目は、生産性の向上です。国内では労働生産性が高い施設園芸も、他国と比べると開きがあります。トマトを例にとると、オランダの10aあたり収量は、日本の5倍以上。日本よりもはるかに少ない労働量で、はるかに多い収量をあげています。

二つ目は、環境制御技術の向上です。天候に左右されない農業を目指して普及してきたビニールトンネルや雨よけ施設も、さらに生産性を上げるためには温度・湿度・光量などの複合的な管理が求められます。現在、日本国内の温室の分布をみると、複合的な制御装置を備えた温室は、全体のわずか3%ほど。平成24年の約655ha(1.4%)から平成30年の1,134ha(2.7%)へ、数年で倍増はしていますが、今後に向けてさらなる増加が望まれています。

大規模化、効率化が 施設園芸の可能性を広げる

いま全国で整備が進んでいる「次世代施設園芸」は、バイオマス(生物資源)など地域エネルギーを使って、10aあたりの収量を上げながら、化石燃料の削減、従業員1人あたりの生産性を評価していくという取り組みです。国内に10ヵ所の拠点が、施設園芸の課題を解決していくためのエビデンスを蓄積しています。

こうした先進施設の実証実験を経て、施設園芸は大きく景色を変えていくことが予測されます。



三菱農業施設では温室・ハウスから研究用施設、植物工場まで幅広いソリューションを提供

「大規模」「効率化」「持続可能」をキーワードに、国は複合的な設備整備への補助事業にも注力しています。今後の農業を牽引していく、成長分野といえそうです。

より効率的な生産に対応する 良質な苗を生産者へ

JA全農いわて 園芸育苗センター

これからの効率化された農業に対応していくためには、良質な苗を大量に生産する必要があります。そこで重要になってくるのが、育苗施設です。

JA全農いわての園芸育苗センターは、JAからの注文を受け、良質な苗の栽培で岩手県下の生産者を支えています。取り扱い作物は果菜類、葉物類、花の苗など。夏・秋向けの苗を主に生産しています。

園芸育苗センターで生産された苗は、一般に種から育てられる苗と比べて病気になるにくく、育てやすいという特徴があります。その理由は、「接ぎ木」の技術を用いた野菜苗の



生産にあります。

いまは当たり前となった野菜の接ぎ木苗ですが、実は30年ほど前に全農で生まれて、世界中に広がったもの。野菜では不可能といわれていた接ぎ木の技術を実用化させたことから「全農式幼苗接ぎ木苗生産システム」という名前もついています。

「当センターでは、トマト、キュウリ、ピーマンの育苗を接ぎ木で行っています。キュウリの接ぎ木はロボットを導入し、より生産性を強化できるよう努めています。接ぎ合わせた苗は、三菱農業施設の活着促進装置「ナエビット」に入れて数日間養生させてからハウスへ移します」(JA全農いわて)

ナエビットの庫内は、常に一定の温度・湿度・光量を保つことができます。JA全農いわてでは、作物にあわせて温湿度を設定し、数時間おきに光量も調整して明暗差をつけています。

「作物によって設定を変える必要はありませんが、ナエビットはハウスのように場所による

温度・湿度ムラもなく、庫内のどこに置いても、一定の品質で苗を生産できます」(JA全農いわて)

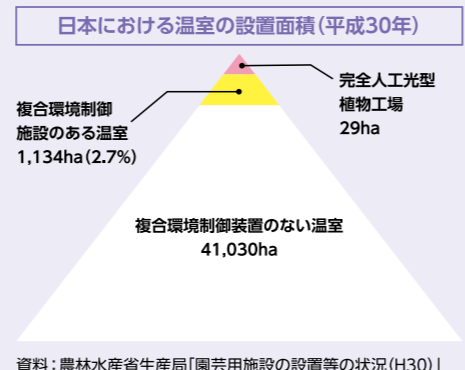
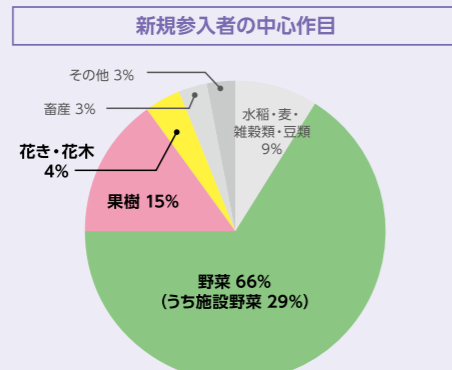
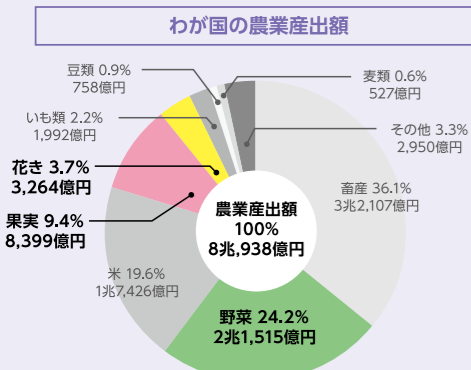
良質な苗を安定して生産者へ届けるために、三菱農業施設の技術力が貢献しています。



苗の接合部をクリップで固定し、数日間養生させます



接ぎ木苗の活着促進装置「ナエビット」



資料：農林水産省生産局「園芸用施設の設置等の状況(H30)」
 ※温室の面積には雨よけ施設を含む
 ※植物工場29haについては、「植物工場全国実態調査-優良事例調査(R3.3)」に基づく推計値



新潟県新潟市
姉崎農園



姉崎信弘さん(41歳)

USER'S DATA

面積

水稲……………約31ha
 (品種) ●新潟次郎
 ●こしいびき
 ●ミルククイーン
 ●コシヒカリ
 ●新之助
 ●いただき

保有機械

トラクタ GX50、GAK50
 コンバイン V698
 田植機 LE80
 その他 乾燥調整施設一式



地域の担い手として、豊かな環境を大切に守り継ぐ

13年前、まったくの未経験から奥様の家業を継いで就農した姉崎信弘さん。地域に離農者が出るたび受託地は増え、農地も農機も大きくなる一方です。効率化、省力化を進めながらも生産者として、また、地域の担い手としてこだわっている部分を聞きました。



姉崎農園は米専業農家。30haを超える自作地・受託地で6種類の米を生産しています。「地域の土地が荒れてしまうのを見ごせない」という熱い思いを持っている姉崎さんは、離農者から声がかかるたび「喜んでやらせていただきます」と田んぼを受託しています。でも、奥様と二人の営農では限界も…。省力化と効率化を目指し、さまざまな試行錯誤を重ねています。

昔ながらの意識を変えて農機のパワーを最大化する

未経験から農業を始めた姉崎さん。最初は右も左もわからない状態だったそうです。「義父は見て学べというタイプの人なので、いろいろな会に入って勉強しました。中でも、県内の生産者と交流できる新潟県の



農閑期に夫婦でドローンのオペレーター認定資格を取得



粘土質の水田でもパワフルに駆動するハーブローラ仕様のGX50

農業士会は、貴重な場所です。昔ながらの農業のやり方をもっとよりよくしようと、30代40代の仲間がさまざまな勉強会や視察を行い、学び合いを進めています」

スマート農業の実証実験に協力してスマート米も育てるなど、最新の農業の手法を貪欲に取り入れている姉崎さん。いま興味を持っているのは「乾田直播」。増える一方の受託地を維持し、一定の収量を確保していくために、乾田直播の実用化に向けて勉強や視察を進めています。

「省力化しながら大規模化、しかも少人数でできること、がうちのキーワードですね。昔のように頭数でのんびり生産しては田がさばけません。10年前は「トラクタはゆっくり丁寧に乗れ！」なんて怒られたものですが(苦笑)、いまはトラクタの馬力を最大限に生かすスタイルになりました」



奥様の由紀子さん(右)と

苗はやさしく丁寧にものづくりも楽しみながら

合理化・効率化を進める一方で、生産者として力を注いでいるのは苗づくり。「苗はできあいを買えば楽なのだけど…」と、わかっただけでも、5000枚にもなる苗を丁寧にハウスで育てています。

「苗床は、ベースの無配合の土に、自家製のもみ殻燻炭と、きのご栽培の菌床のおがくずを混ぜて作っています。ここだけほんなに時間のムダといわれようが、こだわりたい。自分で試行錯誤して手間をかけるのも、農業の楽しみだと思っんです」

手間をかけて育てた苗は、田植え時にペースト施肥をすることで、早いうちに稲の姿を完成させています。

「ペースト肥料は土中5cmの深さに入れ、苗の活着をよくしています。粒状肥料の1.5倍ほどの価格ですが、初期生育が安定し、水田への肥料の流亡も少ないので、ムダが出ずその他の肥料や農薬が抑えられています」



ペースト施肥をすることで天候不良の年でも安定して初期生育が進むそう

物語と想いを届けてファンの心をつかむ

収穫時期が異なる6品種のうち、特に力を入れているのはコシヒカリBL。いもち病に対して抵抗性を持つ、新潟県産のコシヒカリです。

姉崎農園のコシヒカリBLは、新潟県の特別栽培農産物認定を取得。通常は化成肥料・農薬を5割程度に抑えて認定を取得しますが、姉崎さんの特別栽培米は通常の7割ほどまで肥料・農薬を抑えています。

コシヒカリBLだけは直販で顧客のもとへ。小米選別機にかけ、大きさや米の色、胴割れなどを細かくチェックして、自信を持って販売できる米だけを選別しているそう。

コシヒカリBLを送る際は、手作りの新聞「たんぼみち」も封入しています。また、農園のFacebookでは頻りに農作業の様子をつづり、農園の日々のストーリーやメッセージを発信。ファンの心をつかみ、付加価値を高めています。

特に力を入れているコシヒカリBL(右)と新之助(左)



顧客へ送る新聞「たんぼみち」は毎月発行

食の循環まちづくり

新潟県新潟市は、県都・新潟市に隣接する中核都市。江戸時代には十萬石の城下町として栄え、現在も歴史的遺産が随所にとどめられています。

新潟市は新潟屈指のコシヒカリの産地でもある一方で、畜産業もさかんなため、「食の循環」をキーワードにした持続可能なまちづくりが進められています。

農家から出た家畜ふん、もみ殻等は、市内の一般家庭、学校給食等から排出された食品残さと合わせて、市の有機資源センターに集め、再処理してたい肥に。こうして作られたたい肥を、依頼があった生産者の田んぼへ撒くという取り組みを行っています。今回取材をした姉崎農園でも、市のセンターで作られたたい肥を土壌の維持に活用しています。



販売特約店 担当セールスマン紹介



小林農機店 小林裕介さん
 姉崎さんとは年齢が近く、地元の消防団でもご一緒。お客様ではありませんが、気の置けない間柄です。農機の手入れもこまめ、作業前の準備をしっかりとされる方なので、普段は本当にトラブルはありません。それだけに、ご連絡をいただく際はよほどの緊急事態。農繁期など機械が止められない時期は真っ先に駆けつけています。



しらいし
佐賀県白石町



白武宏一さん(35歳)

USER'S DATA

面積

水稲……………約120a
畑……………約240a
(品種) ●ヒノヒカリ(米)
●モチ(米)
●さがびより(米)
●明蹊(レンコン)

保有機械

トラクタ MT30、MT368、MT306、GM500
コンバイン V598A、VG60
その他 レンコン用堀丸、サブソイラー、畔塗機、プロキャスほか



手応えがあるレンコン栽培。農業を、生涯の仕事にしたい。

寒い日も、雨の中でも、胸元まで水に浸かって手探りで収穫するレンコン。作業は過酷な面もありますが、安定的な経営ができる成長分野として注目されています。佐賀県の特産品である「白石レンコン」を生産するかわらで、農機を生かした収入安定化も実践している白武宏一さんにお話を聞きました。



ガンリンスタンドで働いていた22歳のころ、常連のお客さんに声をかけられて、レンコン栽培を新規就農から始めた白武さん。いまや地域を代表するレンコン生産者の一人となり、県内でわずか数軒しかない特別栽培農作物の認定も受けています。



繊維が密でなめらかな肉質が白石レンコンの特長

粘土質の土が育てる ホクホク食感のレンコン

干満の差が日本一大きいといわれる有明海に面した、佐賀県白石町。白武さんのレンコン畑は、有明海から内陸へ3kmほどの場所にあります。

かつて海だったというこの地は、粘土質。この土でレンコンを作ると、砂地で育つシャキシャキ食感のレンコンとは異なり、ホクホクでねっとりやわらかい肉質のレンコンになるのだそう。

「粘りのある泥がしっかりと被さってしまうので、レンコンを掘り出すのは一苦労ですよ(苦笑)」

膝立ちの姿勢で、水圧をかけて泥を飛ばしながら、1本1本、泥の中を手探りで掘り

進めていくレンコンの収穫。作業は決して楽ではないですが、8月末から3月末まで長く収穫ができ、単価も安定していることから、近隣ではレンコン栽培を始める若い農家も増えているそうです。

無人ヘリや「賃刈り」で 夏～秋の収入を確保

白武さんはレンコン8割、米麦2割という専業農家です。生産はレンコンが中心で、米麦はハス田の転作としての用途が主。また、保有しているコンバインを活かして、数年前から麦刈り・稲刈り作業の代行も請け負っています。

「レンコンの最盛期は秋から冬。4月に種レンコンの植付けを終えたら、収穫が始まるまでは別の作業を並行できます。作業代



奥様のゆかりさん(左)と息子の大成くん(中央)とともに

行の受託は1年通じて安定した収入になるのでありがたいです。家族ば食わせならんけんね(笑)」

「賃刈り」に力を入れるため、2021年秋、白武さんはコンバインを買い替えました。VG60からV598Aへ、同じ5条刈とはいえスピードが格段に向上するため、作業性能は2倍になる計算です。

稲刈りを通じて地域の農家とのつながりが深まり、状態のいい畑を貸してもらえるようになった…というも、作業代行がもたらした副産物です。春～夏は麦刈りや無人ヘリの防除を受託、秋の晴れの日には稲刈り受託、雨の日にはレンコンを収穫して安定的な収入を確保。農機をうまく活かして「体を遊ばせない」工夫をしている白武さんです。



購入したばかりのV598A。2022年5月の麦刈りがデビューだそう

「待ちよったよ」の聲が 農業を続ける喜び

農業を生涯の仕事にしたいと語る白武さん。夜明けとともに起き、夫婦で汗を流して、日暮れとともに家族で過ごす生活は、と

ても豊かで充実しているそう。

結婚して初めて農業に携わることになった奥様も、仕事の面白さや手応えを感じているそうです。

「直販所に持って行くと、「おたくのレンコンを待ちよったよ」と言われます。農業は大変なことばかりかと思っていたのですが、手をかけたものが喜ばれるのはすごく嬉しいですね」

いいレンコンを育てるため、ハス田を数年おきに乾かして米、麦、大豆などに転作する労力もいとわない白武さん。「肥料食い」といわれるレンコンですが、清らかな水と栄養豊富な土に恵まれた白武さんのハス田では、化学肥料や農薬を5割以下に減らしてもおいしく育ちます。さらに有機栽培で、佐賀県の特別栽培農作物にも認定。ブランドレンコンとしての注目度も上がっています。



乾燥しないよう、1本1本丁寧に泥を塗って出荷



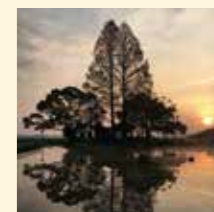
生産・出荷は奥様と二人三脚で

縫ノ池(ぬいのいけ)

佐賀県白石町にある縫ノ池は、おいしい湧水で知られるところ。こんこんと湧き出る清らかな水は「金妙水(きんみょうすい)」とも呼ばれ、近隣から多くの方が水汲みに訪れます。

縫ノ池は約800年の歴史を持つ古池です。その豊かな湧き水は古くから地域へ恵みを与えてきましたが、昭和30年代に入って、灌漑用水や飲料水の汲みあげすぎにより水が干上がってしまったとか。そこから約40年にわたって枯れ池となっていました。平成13年に池の水が奇跡的に復活。おいしい水の基準値をはるかに上回る湧き水が、戻ってきました。

水清き白石町。おいしい農作物が育つのも、この豊かな水環境のおかげです。



写真提供:佐賀県観光連盟

担当セールスマン紹介



三菱農機販売株式会社 九州支社 牛津営業所 武藤誠さん

白武さんとは入社当時から長いお付き合い。ちょっとしたトラブルも「こうじゃなか?あじゃなか?」と二人で試行錯誤しながら取り組んでいます。この地区ではレンコンを始める若い方が増えていますが、白武さんは同世代を代表する生産者のお一人。担当させていただいて、光栄です。

三菱小型汎用コンバイン VCH750A

稲・麦・大豆・蕎麦・菜種・小径大豆・はと麦・子実トウモロコシ
1台で多品種の収穫に対応*

※各種別売キットが必要です



13,211,000円~
(税込)

日本で唯一
 4tトラック積載と
 公道走行が可能な
 汎用コンバイン

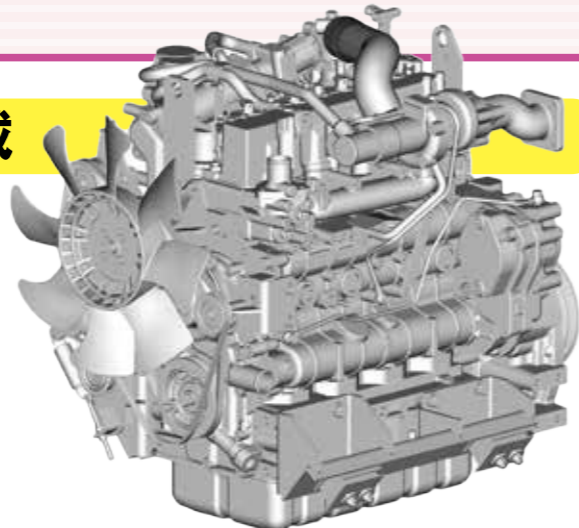
多品目栽培で収入を多角化する生産者を支援!
 自脱型コンバインのバックアップのほか、
 小回りを活かして、周辺のほ場の賃刈りにもおすすめです。

Point 1

高出力75.3馬力エンジンを搭載

機動性の高いコンパクトボディでありながらパワフル・高精度な作業性能を発揮する高出力エンジンを搭載。低燃費・排ガススクリーン化を実現し、騒音や、環境にも配慮した作業ができます。

- 最高刈取速度:1.6m/s
- 水稻刈取速度:1.0m/s



Point 2

標準仕様で子実トウモロコシの収穫作業に対応



※写真は開発中の機械であり、生産時とは異なります。

高収量キット標準装備で超多収材にも対応
 飼料米などの高収量材料も
 追加オプション費用なしで収穫できます。

補助金・需要・効率・連作障害の回避など、さまざまな面から魅力がある子実トウモロコシ。いま注目が集まっている子実トウモロコシの刈り取りを、標準ヘッダーのままで行えます*。

補助金の設定あり

需要が圧倒的に高い

時間あたりの所得が優れている

メリットが多い子実トウモロコシ

■労働時間あたりの所得
(単位:千円/時間)

	1.4	8.8	6.1	29.2
所得	33,000円/10a	44,000円/10a	43,000円/10a	35,000円/10a
労働時間	24h/10a	5h/10a	7h/10a	1.2h/10a

10aあたりの所得は主食用米等と比べると少ないが、面積あたりの労働時間が極めて少なく

**時間あたりの所得は
 主食用米に比べて高水準**

(農水省 畜産局飼料課資料より)

※各種別売キットが必要です

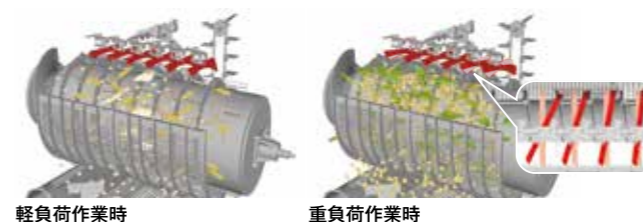
Point 3

スーパーeスレッシャー搭載



三菱独自 送塵量自動調節機能

ロータ上部に可動式の送塵ガイドを6枚装備。脱こく内の一時的な過負荷を適度に逃し、こく稈・こく粒をロータ後方へ運びます。脱こく部内での過度な滞留を抑制でき、スムーズに作業できます。

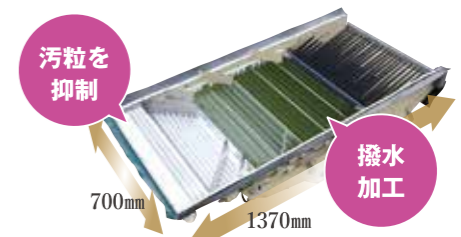


軽負荷作業時

重負荷作業時

三菱独自 撥水加工揺動板

撥水性能をさらに高めたフッ素樹脂コーティングで揺動板を加工。波板部には高耐久のステンレス材を使用しており、汚粒を防ぎ、高品質のこく粒を収穫できます。揺動板上の分散性にも優れ、脱こく負荷を軽減できます。



汚粒を抑制

撥水加工

使いやすさ・快適さを備えて様々な作業に幅広く対応

60馬力～
70馬力8,495,300円～
(税込)

Point 1

無段変速MASC (Mitsubishi Advanced Shift Control)



乗用車のオートマチック感覚で変速ができ、坂道発進もスムーズに行えます。また、ブレーキを踏むだけで停止できるので安心です。

Point 2

充実した操作性

使用頻度の多い各種レバー、スイッチ類は右側手元に集中配置。洗練されたキャビン空間で快適に作業を行えます。



さらに効率性を磨き、収穫作業を力強くサポート

114.5馬力

1,900L
大容量グレンタンク16,043,500円～
(税込)

Point 1

操作しやすい丸ハンドル

反応の良い丸ハンドルを採用、乗用車感覚で運転できます。カラーディスプレイで作業状況も一目でわかります。



Point 2

ワイドな刈幅で作業時間短縮。旋回の回数や走行距離が減り、大規模ほ場も効率よく作業できます。

●標準ヘッダ:刈幅2,060mm ●ワイドヘッダ:刈幅2,590mm ●スーパーワイドヘッダ:刈幅3,230mm | NEW |



麦



大豆



稲



小豆



子実用とうもろこし



そば

※写真はイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

「脱炭素農業」に取り組むコツ

「脱炭素」という言葉を最近よく耳にするようになりました。「脱炭素」とは、石油や石炭などの化石燃料から脱却すること。地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出しないように、社会や産業、生活を変えていこうとする取り組みです。

農業は自然と直結した環境にやさしいイメージがありますが、温室効果ガスの排出は決してゼロではありません。そこで農林水産省は、2050年に向けて新たな農政の方向を取りまとめた「みどりの食料システム戦略」を2021年に発表。今後、さらに注力されていくことになる「脱炭素」について、農業を通じた取り組みを行うためのポイントをご紹介します。

こんなところで関係しています！
農業と温室効果ガス

●化学肥料・農薬を使うと…？

化学肥料や農薬は製造時に化石燃料を使っているため、二酸化炭素(CO₂)を排出。圃場全体に散布した化学肥料により、農耕地からは一酸化二窒素(N₂O)も発生します。

●農機を長時間使うと…？

人手不足解消と効率化に欠かせない農機。パワーが必要な農機は化石燃料で動くため、長時間使うほどに温室効果ガスを発生します。

この手があつた！
ペースト施肥

肥料注入ノズル

田植えと同時に土中へ液状肥料を注入する施肥方法。作物の根茎の部分を狙って局所施肥ができ、減肥料に。

この手があつた！
紙マルチ田植え

敷いた紙の上から苗を植える田植え方法。生分解性紙が日光を遮断し雑草の成長を抑制するため、減農薬に。

この手があつた！
自動操舵システム

データに基づいて最適な経路を高精度でたどる自動操舵システム。熟練の技を誰もが実践できるようになり、燃料や資材投入量のムダを防いでCO₂排出の削減につながります。

Check!!

農林水産省の
脱炭素農業を後押しする 各種補助金・交付金環境保全型
農業直接支払交付金

農業由来の環境負荷の軽減、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動を支援する交付金です。「みどりのチェックシート」に基づいて項目をチェックする必要があります。

農林水産分野における
持続可能な
プラスチック利用対策事業

施設園芸における廃プラスチックや畜産廃プラスチックの削減、生分解性マルチ導入に向けた取り組みなどに対して、事業費や経費が補助されます。公募型の補助金です。

強い農業づくり
総合支援交付金

農畜産物の高品質・高付加価値化、化学農薬や化学肥料の低減、CO₂ゼロエミッション化などの推進に必要な機械、施設の整備を支援する交付金です。

※参考:「みどりの食料システム戦略トップページ」「脱炭素社会実現に向けた農林水産分野の取組」(ともに農林水産省)

ASUMA ごはん讃歌

辰巳ゆうとさん



1月9日、大阪府藤井寺市生まれ。2018年1月「下町純情」でCDデビューし、累計4万枚を超えるセールスを記録。第60回日本レコード大賞・最優秀新人賞ほか多くの賞を受賞。NHK「うたコン」など歌番組で活躍するほか、チャンネル銀河にて冠番組「ゆうと王子の大冒険」も放送中。「演歌界 令和の王子様」として女性誌などでも注目され、新曲「雪月花」が好評発売中。

演歌が子守歌

物心ついた頃には立派な演歌っ子だった僕。0歳の頃から祖父母に連れられてカラオケ喫茶に行っていたおかげで、3歳にして三橋美智也さんの『哀愁列車』が十八番でした。

氷川きよしさんが演歌界に新風を巻き起こしていたのも、その頃です。圧倒的な歌唱力とエンターテインメント性に魅了された僕は、氷川さんの大阪公演があるたび連れて行ってもらって夢のひとつを過ごしていました。地元の野球チームに入りたいと思ったこともありましたが、演歌の魅力には抗えず、休日は祖父母とカラオケ三昧。中学1年生の頃に出場した「ティーンズカラオケ大会」で優勝し、憧れの氷川さんの所属事務所にスカウトされたときは、信じられない思いでした。

ストリートライブで力を磨く

大学進学と同時に東京へ。事務所所属し、ボイストレーニングは受けていたものの、デビューの見通しは一つ立っていません。そこで、東京の下町の繁華街でストリートライブを行うことにしました。

レパートリーは氷川先輩の『箱根八里の半次郎』をはじめ、往年の演歌の名曲です。でも、足を止めてくれる人はゼロ。自分の歌の力のなさを痛感する日々でした。照れを吹っ切り心を込めて歌うことで、一人、また

一人と立ち止まる人が増え、やがてファンの方も数名できました。差し入れていただいたおにぎりは、忘れられない「ごはん」ですね。

演歌界では、僕のようなストリート出身は稀だそうです。多くの歌手は、作曲家の先生や師匠に付き、教えと歌をいただいてデビューします。街角で30人、40人というお客さんを集める力がついた頃、ついに「下町純情」でデビューとなりました。

白菜ひと玉を2日でペロリ

2018年のデビューから丸4年。最近は「演歌第7世代」と呼んでいただくことが増えました。

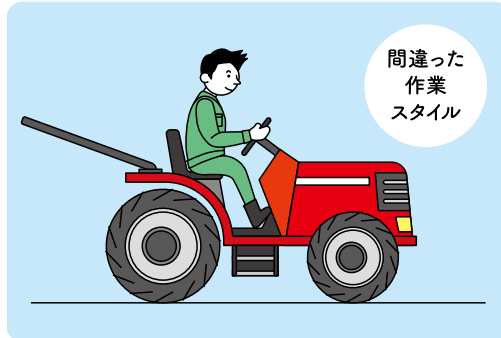
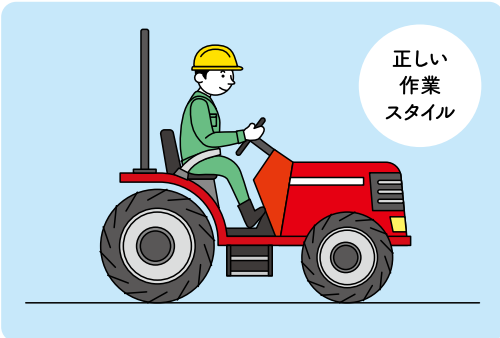
演歌第7世代は、僕と同じ20代前後の若手演歌歌手たち。お互いライバルではありますが、対抗意識パチパチというよりは「皆で演歌界を盛り上げようぜ!」という仲間意識のほうが強いです。先輩たちがつないだバトンは大切に、でも、古き良きものに僕たちにしかできない新しいことを混ぜ合わせて、次の世代につなげていきたいです。

公演の合間には、道の駅によく行きます。実は料理が趣味で、その土地の野菜を物色するのが楽しいんです。特に葉物野菜が好きで、先日新潟の道の駅で、大きな白菜をひと玉買いました。葉が厚くて、甘みがすごくて、2日で食べ切ってしまいました。こんなおいしいものを作れるなんて、農家の方ってすごいなと尊敬しかありません。

ASUMA 読者広場

当たるといい間違いさがし!

農業に欠かせないトラクタ。安全に乗っていただくために、正しいルールを守りましょう。左の絵が正しい作業スタイルですが、右の絵の中で間違っている部分を3つ、見つけてください。



イーグルデザインをモチーフに作成したタグつきの長袖Tシャツ(L)とエプロン(フリーサイズ)のセット

前号(ASUMA19号)の当選者
色紙は丸山桂里奈さんの色紙も当選

三浦吉様/岩手県
田里やよい様/兵庫県
松宮弘高様/三重県
井上清様/埼玉県
大西伸明様/香川県

おめでとうございます!

お答えはハガキで①クイズの答え ②住所・氏名・年齢 ③その他ご意見・ご感想を書いて下記の宛先までご応募ください。抽選で辰巳ゆうとさんサイン色紙とイーグルデザインタグつき長袖Tシャツとエプロンのセットが当たります。

ご応募はこちらへ 〒340-0203 埼玉県久喜市桜田2-133-4 三菱マヒンドラ農機(株)ASUMA編集部

応募締切: 2022年5月31日必着

本社 島根県松江市東出雲町掲屋 667-1
☎ 0852(52)2111(代)

東京事務所 埼玉県久喜市桜田 2-133-4 ☎ 0480(58)7050

販売会社 三菱農機販売株式会社
本社 埼玉県久喜市桜田 2-133-4 ☎ 0480(58)9524

北海道支社 ☎0123(22)1234
東北支社 ☎022(207)3711
関東甲信越支社 ☎0480(58)9521
中部支社 ☎0776(27)3078
西日本支社 ☎0869(24)0820
九州支社 ☎0942(84)1888



www.mam.co.jp

三菱マヒンドラ農機